

平成31年度「企画財政部の方針」

◆	<p>■ 狛江の過去と未来に向けた取組</p> <p>▽市制施行50周年となる平成32年度（2020年度）に向けて新狛江市史の編さん事業を計画的に推進するとともに、新たな市民憲章の制定や記念誌の発行等の準備を着実に進めます。</p> <p>▽現在の基本計画の目標達成に向けた進行管理に努めるとともに、平成32年度（2020年度）から始まる狛江の未来を示す新たな基本構想・基本計画を策定します。</p>
◆	<p>■ 人にやさしいまちに向けた取組</p> <p>▽人権が尊重され、差別や偏見のない狛江らしいやさしいまちづくりを推進するため、（仮称）人権尊重基本条例を市民参加で作ります。</p> <p>▽計画期間が平成31年度（2019年度）までの狛江市男女共同参画推進計画について、社会情勢や狛江市を取り巻く状況を的確に捉えるとともに、市民参加の手法を取り入れ、新たに平成32年度（2020年度）を計画始期とする計画に改定します。</p>
◆	<p>■ 東京2020大会等に向けた気運醸成</p> <p>▽ラグビーワールドカップ2019の開催にあたり、市民団体や他自治体等と連携・協働しながら、大会の盛り上げや市内外に向けたシティセールスに努めます。</p> <p>▽東京2020大会に向けて、パラスポーツ体験やスポーツイベント等を実施し、スポーツ振興に努めるとともに、ボランティア講座を開催し、ボランティアの育成にも努めます。</p>
◆	<p>■ 中長期的な視点に立った財政運営の推進</p> <p>▽狛江市中期財政計画の財政規律（基準）に基づく財政運営を着実に進めるとともに、長期的な視点に立ち、将来に亘って安定した財政運営ができるよう財政基盤の強化に努めます。</p> <p>▽社会保障関係費の増加へ対応するためにも、地方債の発行抑制及び基金の積み増しを行うことで、将来負担の抑制に努めます。</p>
◆	<p>■ 狛江の魅力と行政情報の発信</p> <p>▽市の魅力やイベント情報等について、ユーチューブを活用した情報発信に継続的に取り組むとともに、SNS（インスタグラム、ツイッター、フェイスブック）を用いた情報発信に努めます。</p> <p>▽新聞、テレビ等に市独自の取組が取り上げられることで、市内外に対する狛江市の認知度を更に向上させられるよう、パブリシティの積極的な活用にも努めます。</p>